

## 「ありがとう」と「ありがとう」を通い合わせる相和っ子

「6年生を送る会」

2月28日（木）

6年生と過ごした日々をふり返り、全校で「ありがとう」の気持ちを伝え合う「6年生を送る会」を行いました。会場やプログラム作り、進行のリハーサルなど、5年生が中心になって取り組みました。

そして、各学年から「ありがとう」の気持ちを込めた自分たちの思いを様々な形で6年生へに伝えました。

1年生は、6年生のおかげでできるようになった竹馬や掃除の仕方を披露しました。そして、「中学、がんばれ〜」「みんな、大好き〜」「ずっと、友達〜」とエールをおくりました。

2年生は、かえ歌で「6年生はかっこいい、すごい、大好き」という気持ちを伝えました。そして、一人一人6年生との思い出を伝え、最後に「カントリーロード（日本語版）」を歌いました。

3年生は、6年生からパワーをもらうため「長なわを一緒に跳んでくれたらうれしいな〜。」と6年生を誘うと6年生は「いいよ〜」とこたえて一緒に跳びました。

4年生は、長なわ集会で400回を越えた6年生のすごさや6年生から教えてもらったコツを生かして自分たちも記録に挑戦していることを寸劇で表現しました。

そして、5年生は、「6年生のようなすごい、かっこいい相和っ子のリーダーになるにはどうしたらよいのだろう」と6年生一人一人の素敵なところをスライドショーで紹介しました。それから、6年生が入学してからこれまでの様子を、各学年の担任していた先生へ「いちばんの思い出は？」とインタビューする形で、思い出の写真とともに表現しました。これには、異動されたり育児休業に入られたりしている先生方も登場し、全校児童がとてなつかしそうにしていました。さらに、5年生が、6年生と一緒に活動してきて、今思っていることを一人一人にむけて伝えました。

スライドショーが終わったら、5年生全員が6年生と向かい合い「私たちは、低学年にやさしい6年生になります。」「ぼくたちは、みんなを笑顔にする6年生になります」などと、6年生からバトンを受けた思いと決意を伝えました。



そして、「こんなすばらしい会を開いてくれてありがとう」と6年生からの言葉がありました。合奏「やってみよう」の後に見事な長なわ跳びを見せてくれました。途中、学習発表会で登場した「怪盗団のボス」が再登場！みんなを喜ばせてくれました。それから、怪盗団のボスも一緒になって、「Best friend」を合唱し、きれいな歌声を響かせてくれました。

♪ ありがとう ありがとう ベスト フレンド ♪  
♪ ずっと ずっと ずっと ベスト フレンド ♪  
6年生の優しさが伝わってくる合唱でした。

また、「失敗したっていい。みんなで挑戦し、みんなで話し合い、みんなで解決の方法をさがしていく」「限界突破」など、6年生が大事にしてきたことを全相和っ子に伝えました。それから、6年生から相和っ子班のメンバー全員にメッセージカードが贈られました。

会の終わりには、「きらきら かがやけ」を全員で合唱しました。この歌は、卒業式での6年生の退場の際に会場に流れます。「6年生を送る会」をおえて、3月に入ります。いよいよ6年生は卒業生として、1年生から5年生は在校生としての意識を高めていきます。特に、5年生は、この会を成功させた充実感とともに、次の相和っ子のリーダーであることを感動とともに自覚しているようでした。



## 卒業生のうしろ姿に 注目する在校生

式学習（3月15日、18日、19日）

～卒業証書授与式にむけて～

3月15日から式学習が始まりました。式学習は、3回行われ、第1回目のこの日は、卒業証書授与式の意義と式の流れを理解します。

卒業生の凛として座る後ろ姿に在校生も自然と背筋が伸びます。卒業生の動き、言葉、歌声は、卒業生から在校生へのメッセージが込められています。それを感じ取り、卒業式に臨む姿勢と、進級する意識を高めます。



## おわかれと出会い

～ 変化があるから成長する ～

1年生は、卒業式にむけた取組みとともに、入学式に向けた準備、練習もしています。入学式では、「1年生を迎えることば」を発表します。また、1年教室の飾り付けの準備もしています。

6年生が卒業し、新1年生が入学してくるこの時期は、お別れと出会いの時期でもあります。「お別れせずずっと一緒に」と思うこともありますが、変化のないところには、成長がありません。この時期、子どもたちはかけがえのない経験をします。

